

# 向日市立中学校の校名について

## ＝昨年12月の＝ 勝山中学校の校名を確認 ＝市議会で＝



■昭和57年4月から、市内にある三中学校は向日市立中学校としてスタート(写真は勝山中学校)

昭和五十七年度から向日市立の学校として発足した三つの中学校の校名は昭和五十七年二月十八日の市議会臨時会で、「向日市立学校設置条例」の議決により、向日市としての団体意思の決定をみました。  
その後、「勝山中学校の校名変更に関する請願」が昭和五十七年十二月市議会に提出され、その請願書については、文教消防常任委員会で審議のうえ、十二月二十一日の市議会本会議で不採択になりました。  
校名をめくつて、いろいろ論議がかわされましたので、正しく理解していただくため、校名選定の経過と意義などについてお知らせします。

### 校名の選定

#### 経過と意義

京都府乙訓中学校事務組合で運営されていた二つの中学校(旧乙訓中学校・旧第四乙訓中学校)と新設中学校を向日市立の中学校として円滑に受け入れるため、本市では、準備作業を進めましたが、まず、校名を決めなければならないませんでした。校名の決定にあたり、教育委員会は、民主的な方法で校名を選定したく考え、市内在住の学校の実態や地域の事情に「わしい方、歴史に明るい方など八名で構成する「校名選定委員会」を設置しました。  
しかし、その間、組合解散にかかる財産処理の問題につき、昭和五十六年十月頃から極めて難しい事態となり、昭和五十七年三月末の組合解散そのものもあやぶまれるような状況の中で、解散の合意をみる以前に、新しい校名を決めるとい

### 向日市の中学校にふさわしい校名

ご存知のとおり「乙訓中学校」の校名については、昭和二十二年新制中学校の発足時において、旧乙訓地域一町七か村で組織する学校組合の中学校として、乙訓地域のそれぞれの町村から中学生が通学していたため、乙訓地域一校の中学校にふさわしい名称として、「乙訓」がつけられていました。  
しかし、京都府乙訓中学校事務組合の解散によって

### 校名の決定

#### 勝山中学校名の確認

校名の決定に伴い、新しい中学校校名を盛りこんだ向日市立学校設置条例を昨年二月十八日の市議会臨時会に提案し、市議会において、慎重審議のうえ、同日議会の本会議において、原案とお可決されました。  
このように、学校設置者が変わるといふ歴史的な事態を受けて、民主的な手続を経て、ここに向日市立中学校にふさわしい校名が、向日市の団体意思として決定したのであります。  
その後、昨年十二月市議

### 新たな歴史の創造を

昨年四月一日から発足した三つの学校は、名実ともに向日市立の中学校として、良き伝統を受け継ぎ、新しい校風を樹立して、飛躍・発展することを願っています。  
このためには、教職員をはじめ生徒、保護者および市民のみなさんの温かいご理解とご協力が何より必要でございますので、今後一層ご支援をお願い申し上げます。

作業は、非常に制約された条件の中で進めざるを得なかったものであります。  
校名選定委員会において、昭和五十六年十二月十二日の第一回の会合以来、校名選定の基本方針に沿って、延べ三回にわたり熱心でかつ慎重な討議を重ねられました。  
その中で、例えば、向日市立第一中学校というナインパーをつけた名称、向日市立南中学校というような方角を冠した名称、また中学校所在地の地名名をつけたい名称、さらには小学校と同じ「向陽」を冠したものの、乙訓中学校を残してはほしいなど、いろいろ意見が出ましたが、最終的には、向日市立の中学校としてふさわしい名称については、旧乙訓中学校を勝山中学校とし、旧第四乙訓中学校を向日市立中学校とし、さらに新設の中学校を寺戸中学校とすることを決め、その旨の意見書が昨年一月十八日に教育委員会へ提出されました。  
これを受けて、教育委員会は、慎重に審議した結果、校名選定委員会の意見書を尊重し、新しい校名を決定いたしました。

### 中学校名の選定に関する意見書

#### ●はじめに

向日市内にある中学校の管理運営に目下建設中の(仮称)第五乙訓中学校が、向日市教育委員会に移管される予定である。  
このような情勢を踏まえて、当校名選定委員会は、向日市立中学校にふさわしい中学校名を選定するものである。  
なお、この校名は、向日市民憲章の精神が、脈々と流れるものであり、選定委員の英知と願望を結集したものである。

#### ●校名選定の基本方針

- 1 長いくらしの歴史をもつ、由緒のある向日市にふさわしい校名とする。
- 2 伝統を受け継ぎ、子供達に夢と希望と勇気を与え、未来永くこの発展を願う「西ノ岡中学校」とつきました。
- 3 地域社会に密着し、定住意識の高揚に役立つ、地域の特性を生かした校名とする。
- 4 向日市民憲章の精神にのっとる校名とする。

#### ●校名についての意見

校名選定の基本方針に基づいて、審議を進めた結果、中学校名について、当委員会として、次の意見が得られた。  
1、新しい中学校名は、次のとおりである。  
(1) 乙訓中学校は、「勝山中学校」とする。  
(2) 第四乙訓中学校は、「西ノ岡中学校」とする。  
(3) (仮称)第五乙訓中学校は、「寺戸中学校」とする。

#### ◆校名選定委員会委員名簿(五十音順・敬称略)

氏名	所属
磯野 正 中	市議会 文教消防常任委員長
笹野 貞 子	堺女子短大教授
清水 利 一	市助役
高橋 邦 夫	乙訓中学校 育友会長
高橋 静 二	京都府乙訓中学校 事務組合教育委員長
建 口 清	市議会議員
中山 仙 三	市自治功労者会長
藤 田 修	大阪大学助教授